



JOIN HANDS IN SERVICE
手をたずさえて奉仕に励もう

ライオンズクラブ国際協会

333-C 地区ニュース

1983-84

No.6

愛と知性で日に日に奉仕



県立公園青葉の森を飾る一万本の梅林	… L石橋 光	… 2
L秋葉 寛プロフィール	… L吉野正三	… 2
キャビネット便り	… L池澤 稔	… 3
海鳴りと海嘯の轟く街に	… L松丸善次郎	… 5
アワードについて	… L吉田政勝	… 5
私の盟友	… L小川恵功	… 6
任期を終え反省	… L木村博美	… 7
一年を顧みて	… L深川穰次	… 7
新会員オリエンテーションの教訓	… L前田慶四郎	… 8

春の交通安全旬間のACTについて	… L花沢秀充	… 9
代議員分科会の報告事項	…	… 10
感謝と期待をこめて	… L林 隆而	… 12
習志野中央LCのCN盛大に挙行	… L渡辺 惇	… 12
LCIF送金状況	…	… 13
333-C地区合同ACT一覧表	…	… 14
アルバムで見る333-C地区大会寸描	…	… 15
千葉ポートクラブ認証状伝達式	… L竹久定雄	… 16
編集後記	… L高橋 進	… 16

Lions

INTERNATIONAL

県立公園青葉の森を飾る一万本の梅林

ライオンズクラブ国際協会

333-C 地区ガバナー

L 石橋 光

此の度、地区会員3千6百人が勢揃いして、合同アクティビティの型を踏み、千葉県へ梅の苗木一万本を寄贈、将来千葉県の顔にするため梅林の造成を計った。このようなアクティビティは、明日住む人様を喜ばせ、楽しませることが出来ないで、何のためにこのようなことをしたのか判断に苦しむ人々もいるであろうが、十年後、三十年後、五十年後の効果が如何に大きいかは想像に難くない。青葉の森十五万坪のうち三万坪をさいて、この梅林にあてたことは壮挙である。純白な花が咲き開き、紅色の花がこれにあやなす光景は、えもいえぬ美しさであろう。人はここへ来て心をいやし、身も心も解放し、楽しみ、この清々しい雰囲気陶酔するであろう。そして、自ら詩が生れ、芸術が甦り、造化の神の妙味に感動するであろう。このように梅林一つさえ多角的な感動により、人間に多くの刺戟を与えることが出来る。

梅は四季のうち、冬の寒さのまだ消えやらぬ早春から花開き、清楚にして品のある色と香は人間に或る落ち着きを与え、荘重な雰囲気を漂わせる。この光景は日本、中国の朝廷のたたずまいを象徴してもとるところがない。花は花であらゆる角度から楽しめる。梅の実はや実なりに色々な楽しみかたがある。家族づれの一日の梅実狩りなどが、あとあとまで記憶に残る行楽の一つとなるであろう。熟れた実を拾い、きれいに水洗いした後、お砂糖

と煮込めば立派な梅ジャムが出来、パン食の好添物になる。青梅は紫蘇と塩を用いて梅干になるし、又角砂糖と焼酎では梅酒が出来。又手頃に熟れた梅を食塩でかじるのも素朴な食べ方の一つで子供を喜ばせる。

このように花見及び実狩りを通じ、一万本の梅が市民、県民に及ぼす影響は大きい。この時はじめてライオンズクラブ会員の大きな奉仕活動が認識され、感謝され、敬われ、愛されることは間違いない。私のいう「台風の目たらん我等ライオンズ」の考え方は、ここで花開くのである。このライオンズの素晴らしい奉仕活動が大きな刺戟剤になって、このボランティア活動を理解し、共鳴する民間の大集団を味方にする事が出来るからである。このようなことを来る年も来る年も続けて、我々を理解する民衆の輪を拡げることにより、明るく豊かで住みよい社会を造成することが出来る。

このような形で台風すなわち世論を日本の各地、世界の各国に喚起することによって、世界の平和は近づくのである。至難のこととして取り組まなくてはいつの日に実現することが出来るであろうか。いかに道は険しくとも、長期にわたろうとも、目的に向かって行進を始めなければ所期の目的は達成されない。たとえ何百年、何千年かかってもやらなければならないことである。これが真面目な人間達の使命である。



333-C 地区 ガバナーエレクト

L 秋場 寛 プロフィール (上総一宮L, C)

キャビネット幹事予定者 L 吉野 正三

上総一宮ライオンズクラブは1965年茂原ライオンズクラブのスポンスにより結成され秋場 寛Lはその初代及び二代会長と、そして其の後ゾーンチェアマン、ディプティガバナーを務められた我がクラブの西園寺公望のような方であります。

秋場家は現当主で14代を数え昔から代々仁術一本鎗のお医者さんで一宮町近在の名門であり私の命の恩人でもあります。現在は御長男と診療に当られ、又御二男は茂原市に於て歯科医をなさって居り、お二人ずつ四人のお孫さんを有する秋場御夫妻の若さの秘訣をお知りにな

りたい方はお申し出下さい。これは幹事の専売特許でありますので私が幹事になってから、ゆっくりお知らせ致します。御趣味は大変幅広く種々ありますが特にゴルフは奥様共々楽しまれて居り其の腕前は、そうですね、青木 功と岡本綾子とドッコイドッコイでしょうか、私はゴルフが出来ませんので見たことはありません。

尚奥さんの日本舞踊は又有名で藤間玉勇三を名乗り名取を通り越した師範級であります。皆さん来年をお楽しみに。



キャビネット便り

C A B 幹事 L 池澤 稔

ついに最終のキャビネット便りをしたためることとなった。この一年間をふり返ってみて胸を張って誇れることと、残念乍らできなかったことと、途中で申送らねばならなかったこと、これらを分類して語りたと思います。

1. クラブ数および会員数の推移

年度当初国際会長プログラムで求められたことは少くとも2クラブの増と、1クラブ平均で純増2名ということでありました。

今これを比較して表にしてみよう。

基準日	クラブ数	会員数	入会	退会
a. 1983年6月30日現在	74	3,414		
b. 1984年5月31日現在	77	3,613	405	206
c. 増 △ 減	3	199		
増加率 c/a	4%	5.8%	1クラブ平均2.6人	

5月中では入会9に比して退会12を記録していますので毎年の例で6月、7月は減少傾向の時期となっていますので6月末の数字が心配です。

然し他地区に比すれば誇り得る増加率です。

2. 奉仕活動

1983年7月~1984年5月末累計

金銭アクト	1,796件	221,622,140
労力アクト	957件	
献血	145回	5,442,760cc
献眼登録		741名
献眼		1名
献腎登録		114名

金銭アクトを会員1人当平均で計算すると

333-C地区 61,340円

333複合地区平均 35,350円

となって大いに胸を張ることができるけれども献眼登録以下の数字は毎回事と乍ら、お寂しいと云わねばなりません。

3. 合同アクト

今年度当初から打ち出した梅の木1万本を県立公園へ、献血運搬車5台を千葉県血液センターへ寄贈の合同アクトは皆さんの予期以上の協力を得てまだ支払いがすべて終わっていないので、確定ではないが100万円位の余剰が最終的に見込まれます。

全クラブ洩れなく参加していただいたことと13%も

予想を超えたことに衷心より感謝いたしたい。

4. 地区年次大会

地区年次大会も熱狂的な盛り上がりの中に終了することができ多くの方から讃辞をいただきましたことを厚くお礼申します。

複合地区大会も立派な演出で大成功裡に終わったことを祝福いたしたい。特に献眼推進分科会に出席された方は献眼者の遺族の方の挨拶と、角膜提供を受けて明るい光をとり戻された婦人の体験談にいたく感動を覚えたことと思います。

ライオンズの奉仕活動の極致はここにあったのだと思いい知らされたものです。

5. エクステンション

ライオンズおのおのが新しい同志をスポンサーすること、又クラブが新クラブをエクステンションせねばならないことを知らないもの又は知りつつも怠っている人が多い。

次年度は茂原長生クラブが長柄町に、成田クラブが酒々井町に新しくエクステンションに努力しています。

千葉東部に新クラブ結成の働きかけをしたが思う様に進展しなかったが、これは第3リジョンの再編成のためにどうしても必要なことで是非ともやりとげなければなりません。

ライオネスクラブとレオクラブのクラブ結成の機運がもり上がりつつあるので次期キャビネットにこれを醸成されるように申し送ります。

6. 国際協調、YE関係

国際協調、YE委員を7名に増員したことは早速にその成果を現しています。少なくともこの活動に対する関心が広範囲に浸透したことだけでも効果があがったといえるでしょう。

米国カルホルニア州4L-3地区と姉妹地区の提携をしたことは国際協調と同時に今後のYE活動に大いに貢献することになるでしょう。

今年度27名のYE派遣生を世界各地にむけて送り出します。若者達が貴重な体験を得て無事に帰国されることを願ってやみません。

7. レオの活動を期待したい

レオクラブ会員の年齢制限で日本の特殊事情を訴えつづけて来た甲斐があつてボーイスカウトの組織に似た三つのクラスに分れることに決りつつあるようで、弱年令



者の公認が見込まれます。

県下に少くともいま一つのレオクラブができないだろうか。6つ以上にすれば1レオ地区になることができる。

立派な指導者がいるところは本当に生き活きとして動いて、日本の将来に明るい希望を持たせてくれます。又一方に指導者難の声をききますがボーイスカウトも一朝にしてなったものではないのです。

若者を育て上げようという意欲に燃えた指導者の養成をまず心掛けたいものです。

そしてレオ活動の将来に大きな期待を寄せましょう。

8. キャビネット事務局の整備

この1年間かかって人事管理の面ではなんとか最低限の整備をすませました。働く人に意欲をもたせることが先決であると考えた訳です。最低限といったのは許す範囲内で向上を目指したいと思います。

規約その他についても3年目としてやるべきことの改正をしましたが、まだ充分とは思っていませんのでこれは次期に送ります。

事務室の狭隘さと不便さは1年間通ってみて実感として既に限界にきています。会議室と談話室を持つ事務局がもっと交通便利なところにほしいのです。

ライオンズ会館の設置は既に1980年から私が叫びつけて来たところです。畜産試験場跡地は梅の林に化けて了ったが私は未だあきらめてはいないのです。中央1丁目にできる予定の再開発ビル内にロータリーと青年会議所と社会奉仕三団体で1フロワーを持てたらなあという夢を持ちつづけています。

そんなことができるかと断言できないではないかしら。

9. アイバンクの設置を提唱する

角膜提供がどんなに必要で、求められているのか角膜移植がどんなものなのか、我々は余りにも知らなすぎた。

そんな意味で献眼推進のための啓蒙運動として、6月初めに行われたキャビネット構成員とクラブ三役の研修会に順天堂大学浦安病院の田中稔眼科主任に来ていただいて講演をして貰った。

眼のうろこがとれた様な思いがした人がいるに違いない。頑強に死後の眼球にこだわりつづける人がいるが、死後においてその眼が、生き続けることの喜びに発想の転換はできないだろうか。

群馬県でも、栃木県でも、茨城県でもライオンズクラブが作ったアイバンクが立派に活動をつづけ、多くの人に感謝をされています。

千葉県だけにはないのは何故でしょうか。

「身体髪膚これ父母に受く敢えて毀傷せざるは孝の始めなり」などと古く教えられたこともこの科学の進んだ世の中で転換を要するのじゃないかしら。

いらなくなったものを活用して次の世代に残してやる、こんな立派な行いに、もっと理解を示そう。

献眼推進運動の先ず第一歩に千葉県にアイバンクをわれわれの手で法人化して、順天堂大学と提携して、画期的な発展を望みたい。

10. 次期の次期のキャビネットについて

秋場キャビネットの次期のキャビネットの予定は未だ発表の段階ではないが落ち着くべきところに落ち着いた様でホッとしています。

11. 年度末に表彰状

この一年間キャビネット構成員の方が本当に熱心に努力されて、われわれをもり立てていただいたことに対しては感謝の言葉もありません。

その中でも特にその職責に献身されたお二人の方にガバナーから表彰状を贈って感謝の意を表することとしました。

ゾーンチェアマンとして1リジョン2ゾーン松戸中央クラブの中山一三Lに。

PR情報委員の中では4リジョン飯岡クラブ磯村豊司Lに、それぞれ適当な方法で伝達されました。

むすび

終ってみたらアッという間の一年でした。この間に事務局に数えきれない程足を運んでいただいたDDGのお二人4R向後清治郎L、6R深山稯次L。この方々の陰の努力でキャビネットのバトンタッチの順序がきまった様です。

その他にも狭いキャビネット事務局にはいつもどなたかは顔を出して至らない私に親切なお導きをいただいた事に対しまして厚くお礼を申し上げます。

国際会長から賞二つ

— 国際会長 J. M. ファウラーさんから特別に —

○成田ライオンズクラブに、台北飛行場所在地の桃園県獅子会と姉妹クラブを締結し30数名が渡台して親善を深めた業績によって「国際協調最優秀クラブ、バッチ」を受賞した。

○柏グリーンライオンズクラブに国際会長の本年度テーマに沿った人道的な奉仕に対する深い感謝と賞讃の意を表すアプレシエーションが贈られて来ましたので、ガバナーの代理として池沢CAB幹事がそれぞれの例会に赴いて厳粛な伝達式を行いました。

国際会長に代ってこの榮譽を伝達するにふさわしい伝達式を行う様に特別に指示されたものです。

なお以上の他に3月29日に茂原クラブに国際協会から野外ステージ寄贈についてユネスコへのリストに加えられた事で表彰状が送られています。



海鳴りと 海嘯の轟く街に

1R DDG

┌ 松丸善次郎

上総の丘に芽吹いた緑が映えて、一の宮の野に花ばなが美しく咲き乱れ、浜に霞が立込める頃、人々は最も忙しい季節を迎える。新たに生れる秋場キャビネット作りに明るい声が潮騒のようにこだまする。外は灼熱の太陽が物の影を奪い、一陣の浜風が涼を運ぶとき、西から石橋ガバナー、東からL秋場寛が中央に向かって進み両者固い握手の後、石橋ガバナーから「印綬と旌旗」を秋場ガバナーエレクトに贈られる。

秋場キャビネットの誕生であり、ここに新たなる首途を告げる。木々の葉は深ぶかと緑を増し、より高みへと伸びる、まるで秋場キャビネットを表徴するかのよう。石橋ガバナーが現代生活に即したターゲットは「台風の目たらむ我等ライオンズ」と叫ぶ姿勢は大いに納得される。それは果しなく広がる青い海のように、333-C地区3千5百有餘のメンバー、一人ひとりに共感を呼び日、一日と確かなものとなって同化していった。それはクラブの活性化にも大きな力となって表われた、会員の増加、クラブ数の大いなる前進は端的にその証しとして受けとめたい。

私は石橋ガバナーに「送る言葉はない」ましてや「別れの言葉」など全くない、また申し上げる場がない。何故なら、昨年7月石橋ガバナーから運命共同体として信頼され、企画に、運営に、最善の努力を尽すよう要請され、今日まで参りました。

今、石橋ガバナー自身心の中では「今一步」の期待があったやに思われる。期待に応えることが出来ず、不甲斐なさが僅かに残るのは否めない事実であります。心からお詫び申し上げます。

先陣を譲り後陣に廻っても、その責を果すべく揺ぎないスクラムを組んで胸を張り堂々と大地を踏みしめ乍ら進みたい。

上総一の宮L・Cから起った秋場ガバナーエレクトを私は知らない、知らないからこそ人一倍魅力を感じる。私の思いは「波濤の美」と言う言葉で表現させて戴きたい、波の美しさ、逞しさ、それは挫折を知らぬ勇者の強さに匹敵するでしょう。塩味のきいた人柄でその温もりが肌に感じられ、ソフトな甘さ、と英智の匂が磯の香のように漂ようライオンであって欲しいと思う。

人びとが午睡から目覚める昼下り蝉の声がひとしきり噪いとき、秋場キャビネットもこれに合せるかのように休むことを忘れ、眠る時を惜んで仕事に没頭している。房総の大地を「奉仕の輪」で埋めるべし、訪問への旅立は近い。周到な準備、十分な現状の認識、実態の把握等今までの伝統を踏まえて対処し、将来の展望を計って欲しい。

役職にあった人も、なかった人も、これから就く人も協力し、また組織も、規則も、時の流れに沿って変化し考えも変わるだろうから。メンバーと語ることが必要であろう。語って見なければ、行きづりの人に等しい。

潮が満ちて来た、白い浮雲もいつか茜色に染まる光は時を示している間もなく海鳴りが聞え海嘯が轟くことだろう、変え難い時を惜むように。

アワードに ついて

2R DDG

┌ 吉田政勝

アワードの規定については毎年7月下旬に行われる第1回CAB会議に於いてガバナー提出議案として検討され承認されている。しかしそれは毎年殆んど同じものであり、クラブの基本点数の基礎になるものである。昨年藤田CABはクラブEXTをしたクラブは即金賞であると打ち出した。今年は明確なる解答なきまゝ遂にEXTしたクラブでも優秀クラブに入らなかったクラブもあった。勿論ガバナーのご意志で毎年異った基準が採用されてもかまわないが、出来るだけ早目に発表して頂きたいと思う。

マンスリーレポートにのせるACTにしても基準がむずかしい。YEのように受入1人について労力奉仕1日24時間と決っているものは大変やり易い。1人20日間の受入で480時間の労力奉仕として報告するものである。又チャリティーゴルフ、チャリティーショー等では純益のみを奉仕事業に使った時点でACTとして認めている。之等はACT基準のごく1例であり、今年度石橋CAB主催の3役スクールでも説明されているがなかなか完全に理解されていない所もあるようである。

「非利益追求」ということばを故村上元国際会長は使っておられたが、LCが政党、宗派に関する討議をしてはならないと同じように、会員であることを利用して利益を得るようなことがあってはならないことになっている。ましてや立派なACTをやり乍らその見返りを期待してACTをやっているものではない。アワードに関しても同じことが言えると思う。より立派なアワードをもらうためにACTをやっているわけではない。円滑なるクラブ運営を行い、活発な奉仕活動を行っているならばアワードの方から自然にこちらへやってくるものと信じている。一般に古い伝統を誇るベテランクラブは余りアワードにこだわっていないように思われる。

しかし乍ら反面毎年優秀クラブ賞をもらっているクラブに於いて自分が3役という立場になった時、その年にだけ優秀クラブ賞をもらえないことになると責任問題だと必死になる。又クラブとしても士気高揚のためにもよりよいアワードが欲しいと思うのも無理のないことである。そんなクラブはないと思うが、そのためにACTの水増し等があったとしたら言語道断である。

而うして毎年アワードの時機になるとアワード廃止論、無用論がとび出してくる。しかし私としては現時点ではアワードは必要であると考えている。

但し優秀クラブ賞金賞、銀賞、若獅子賞は極めて権威ある賞であり、あらゆる点で総合的にみて優秀であるから授与されたものである。之等の受賞クラブはこれ以外の賞は不必要ではないか、それらを含んでの賞であると思ふ。之は全くの私見であってあく迄もその時のガバナーのご意志に従って決めて頂いて結構だと思う。

但しその基準の発表をなるべく早く、出来れば新年度発足前の3役スクールの時にでも発表できればそれにこしたことはない。合同ACT等についても同じことが言えると思う。紙面の都合上私見の一端を述べさせていただきます。

私の盟友

5R DDG

L 小川 恵 功

私どもはそれぞれの親友もあり、友だちもあるがその数は限られている。ライオンズクラブは年月が経つにつれて、全員が盟友となる。数の多い中だから多少の差は止むを得ないとしても、親しい言葉を交わす仲くらいになることは疑いない。酒好きと、甘党はその話を唾と喉を鳴らし、意気は完全に投合する。

趣味となればこれまた一段と親近感を深め、ゴルフ、釣、旅とくればもはや枚挙にいとまとなない、月2回の例会は食事をともにし、お隣りさん、お向かいさんとは

くに話題にこと欠かない。

それがその人の人柄を知り、趣味を知る機縁である。最初は見ず知らずの他人であったのに「袖触れ合うも多生の縁」となり、つまづく石にも愛着の縁を感じるのである。

人間の気質や根性、自我そのものはたとえ結婚しても不変であり、所詮、他人同士だからである。

私はある先生から、昔言葉で夫は妻を指し、妻は夫を指して「私の連れ合い」といったと伺った。

今日でもその言葉は残っている。お互いを尊敬し客観的にいたわりをこめた味のある言葉と思う。

今年度石橋ガバナーを天に多くのCAB構成員、リジョン内の3役、メンバーと数多きライオンとの交際ができ生涯忘れ得ぬ想出であろう。

いつも限りなき尊敬の念をいづく先輩、気心の許せる盟友、親しみが泉のように湧き出てくる盟友など、いつまでも、いつまでもお交際をしたいと願っている。

ライオンズクラブは奉仕の団体であるが、また、こうした温かい人間関係の製造団体でもある。盟友は固い約束を結び、心と心の融け合う同志でありたい。

終りにこの一年間ご支援、ご協力いただきましたライオン各位に感謝を申し上げます。

任期を終え反省

6R DDG

L 木村博美

あと1ヶ月足らずで任期を終えるに当って、昨年7月就任の時に考えていて事の半分も実行出来なかったことは残念であり、御協力、御支援を戴いたホストクラブ館山LCの会員を始め、6R内のライオンの皆様に申し訳なく思っております。特にリーダーシップ開発の研修会を開いて私も共に勉強するつもりで居りましたのに実現出来ず、誠に心残りでございます。私が6R内地区役員の責任者としてリーダーシップが足りなかった為であると思われます。LCのメンバーはすべて経営者又は管理者であり、企業のトップの方々ですが、企業に於けるリーダーシップと、ライオンズ役員としてのリーダーシップとは若干異ったものがあると思います。近い将来に於いて6Rでキャビネットを構成することがあるとするならば6R内各LCの会員のリーダーシップ開発は必要、不可欠の問題であり、一日も早く着手することが、6Rキャビネットの成否を決定することになると思います。LCの役員の任期はすべて一年ですから、就任してから準備するのではなく、次期役員予定者と決定したらすぐに準備にかからなくては間に合わなくなるということでしょう。R会議の主催、Z会議への出席、R内の公式訪問、キャビネット会議の出席、DDG会議への出席、ガバナー公式訪問の準備と随行、新入会員オリエンテーションの実施、単位クラブの招請による行事参加、チャーター・ナイト、周年記念行事参加等々で、あっという間に過ぎてしまいました。次期DDG予定者原ライオンには私の出来なかったR行事を是非とも実現して戴き6R内のライオンズ昂揚の為に御活躍下さる様御願いいたします。

終りにこの1年間私を補佐して下さった1Z高橋ZC、2Z川名ZC、鈴木PR委員、石渡、赤池両Z幹事の皆様、本当に御苦勞様でした。厚く御礼申し上げます。

一年を顧みて

7R DDG

L 深川穰次

石橋ガバナー、池澤幹事はじめ皆々様の御指導の下D、D、Gとしての私の任期も終りに近づきました。

この1年間私なりにベストを尽くして頑張って参りましたが皆様方のご期待にそえず大変ご迷惑をおかけしたかと思うと汗顔の至りです。時にはやり過ぎの批判も受け兼ねないこともありました。この点、ゾーンチェアマンのお二人とPR情報委員の諸Lに誌上を借りてお詫びすると同時にお礼申し上げる次第でございます。1年間を振り返りますと第一に地区ガバナー選出の事が思いだされます。9月初旬に池澤幹事より7リジョンからガバナー推薦の依頼を受け協議する事10数回。種々紆余曲折がありましたが7リジョン全員で秋場Lを推薦することに決定致し10月中旬にはキャビネットへ報告する事が出来ました。これも偏に諸先輩ライオンはじめ皆様方のお力添えのたまものと感謝致しております。特に第一ZCの原田Lには早朝6時に度々お電話差上げ家族の皆様にまでご迷惑をおかけ致しました事をお詫び致します。又リジョン内各クラブ三役の皆様に合同アクティビティ資金の応募、又は地区大会が近づくにつれて出席人数の割当やらでは各クラブ共依然としてご協力を賜った事について感激一入のものがあり感謝致しております。お蔭様で資金も人員登録も予定を突破し私自身大いに面目をほどこした次第です。次に新会員オリエンテーションについては当日早朝より降雪の為道路事情が悪く急遽中止し、各クラブにご迷惑をおかけ致しました。特に会場が当クラブメンバーのレストランで100余名の申込を心よくキャンセルして頂いた御厚情は忘れることが出来ません。オリエンテーションは後日同レストランで開催する事が出来ました。以上お詫びやお礼やの言葉許りでしたがライオンズマンでなければ出来ないことばかりでした。次にリテンションについて一言申し述べさせて頂



きます。当リジョンでは入会31名に対し退会10名（4月末現在）の多数にのぼっております。これは各クラブ共頭を悩ましていた問題と思えますがあまりにも会員増強を急ぎ過ぎ調査不十分の儘入会させる例があるのでこの悪結果が出ていると思われまます。これはDDGとして大いに反省しております。最後にキャビネット事務

局の現状ですがあまりにもオフィスが狭すぎて訪問しても休憩場所もない有様です。どうか今少しスペースのある部屋で事務員の皆様を交え楽しく話合える様なキャビネットにして頂きたいものです。以上思い出す儘に書きましたが充実した一年を過ごさせて頂き有難うございました。

新会員オリエンテーションの教訓

333-C地区
指導力開発委員長

L 前田慶四郎

当地区の新会員オリエンテーションは、石橋ガバナーの指示により、リジョン毎に、本年度中2回行われることになった。私の所属する第3リジョンに於いても、昨年12月、その第一回を終了した。成否は兎も角として、種々の得難い経験をしたので、第二回を、より成功さすべく早速準備に取り掛った次第である。

前回においては、大略、国際協会の手引きに則して計画され、ライオンズ必携をテキストとして使用したのであるが、時間の制約に妨げられ、主催者、受講者共に多少の不満を残す結果となった。

そこでこの度は、新会員のために、一目でわかる表式解説テキストの作製を考えた。その内容は、ライオンズ必携を始め、幹事会計必携、協会の手引き、その他から主として図解を取り入れ、その足りない所を、説明文を一枚の表にして補足した。これを称して、ライオンズ表式必携というが、その効果は、講習会場において、新会員の質問、首肯の動作によって、早くも察知されたのである。

さて、今講習会の特色は、講師三名が、第一部「ライオンズクラブ国際協会」、第二部「地区、複合地区のライオンズ」、第三部「単位クラブ」を夫々担当し、説明が終ると、質疑応答の時間を設けて、一息入れるという工合に、その都度、会場の緊張感をほぐした点にある。時間の不足を除くと、ほぼ満足であり、大成功というべきであろう。

では、受講者の反応はどうであったか。それに対しては、会場で「お尋ね」として彼等から回答を得ているので、それらを整理した結果を見てみよう。

質問は、六項目で、それぞれについて自由に記入させた結果、多数の異なる回答が寄せられたので、主催者が適宜統合して、大体五分類に纏めた。その結果は下記に示す表であるが、都合により、一部省略した。

回答は、全部で36人であるが、その中で、意味の受け取り兼ねるものが多少あったが、それは推定によった。

質 問	回 答	人	%
1.最も印象に残ったもの	ライオンズム	11	31
	オリエンテーションチームへの讃辞	10	28
2.ライオンズで大切なこと	奉仕活動	14	39
	友愛相互理解	14	39
	例会出席	4	11
3.すぐやりたい奉仕活動は	無回答	12	33
	青少年対策	7	20
	病人老人等弱い者の救済	5	14
4.クラブの意志は誰が決定するか	会員	28	78
	理事会	5	14
	会長	1	3
5.出席が大切な理由	相互理解のため	14	39
	義務だから	9	25
	A C Tその他重要事項決定	5	14
6.講師に望むもの	指導	18	50
	回答なし	12	33
	組織大会などの無駄を省け	6	17

表を一応分析すると、第一の質問に対して、ライオンズム31%、チームへの讃辞28%は合計59%の支持であり、表には省略したが、無回答17%、クラブ、年次大会の在り方17%の合計34%の1.7倍に当るので、ほぼ満足である。

第二の質問に対しては、奉仕活動39%、相互理解39%例会出席11%で、凡ての者が一応ライオンズムに理解を示したことが窺えて頼もしい限りである。第三の質問に対しては、無回答33%と無関心も多いが、省略した分も含めて、青少年対策、老人対策等67%の如く時勢を反映した奉仕に、力強い関心が払われている。第四に対しては、クラブの最終意志決定が例会によって行われ、会員の一人一人がこれを支えることを、受講者は答えたもので、これまた頼もしいことである。第五に対しては、例会は、出席を義務付けられ、相互理解や自己啓発の場であり、且つ重要事項の決定機関であるとの認識が窺い知ることができる。最後に第六に対しては、今後共、講師に対して、会員達の勉強の機会を作り、更に指導を要請していることが窺える反面、一方では、回答なし33%は兎も角組織、大会における一切の無駄の排除を要望し、機構改革を始め、大会、クラブの運営面での一段の冗費節減の

努力を期待しているのである。

オリエンテーションにおいて、かかる批判要望の出されるのは異例のことであり、敢えて新会員の言に俟つまでもなく、ライオンズの指導に当る者は、率先して、これに対処すべきものと思う。ライオンズは64年の経過と共に、今や近代化を余儀なくされつつある。

ここで、私は、どうしても指導力開発について言及しないではいられない。というのも、今回の事業を実施するに当たって、その成否の鍵が、実に「努力、熱意」の土台に支えられていたからである。単に、考えるだけのアイデアは、それ程難しいものではないが、いざ実行となると、労力、時間、費用の三つが、いやという程チームメンバーの重荷となって、のしかかって来た。リジョン単位の事業ともなれば、打合わせのための会合にも、日取りの調整にままならず、といった工合で、これも検討事項の一つであった。

因みに、チームメンバーをリストアップしておこう。チームリーダー、元ガバナーL榎智光。メンバーとして、元キャビネット幹事L北村泰彦。指導力開発委員長L前田慶四郎。ディピティ・ガバナーL中島市太郎、1ゾーン、チェアマンL中村喜三郎。2ゾーン、チェアマンL小泉集荘。情報委員L牧野肇成。千葉LC副幹事L間渕

武二。同会計L秋山嘉一。以上9名

以上のメンバーは、各々仕事を分担し、企画、予備会議、検討、資料作成、会場準備、各LCへの呼掛け、通知状の発送、参加者の確認。会費の徴収その他について、夫々の分担に精根を尽した。私は、担当の関係上、特定の者に仕事の過重になるのを、何回となく見た。しかし敢えて目をつぶり通して彼等に期待したのである。その結果、リーダーシップに「努力と熱意」の大切なことを知った。私自身、何度となく、手を抜くことを考えた。しかし、彼等を見ていると、そんな我がままはゆるせなかった。結局、自分で出来るだけのことはしよう。すべて「努力と熱意」の虜となる以外に術はなかったのである。

この間、チームリーダーは、終始思いやりの心で、メンバーを見守り続けた。会合のたびに、リーダーの口から出る言葉は、必ず「お世話になっています。いつも大変な事をお願いして済みません。」であった。リーダーたる者の心得の一つは「相手に対する思い遣り」であり、これを取巻く者の心得は「努力と熱意」でなければならない。新会員オリエンテーションの事業は、我々に貴い教訓を残して、成功裡に幕を閉じたのである。

春の交通安全旬間のACTについて

木更津中央LC PR情報委員 L 花 沢 秀 充

私共木更津中央LCがある木更津市は千葉県の南部に位置する商工業の中心都市です。市の南西部には世界的な新日本製鐵君津工場があります。更には君津・天羽地区に広がる山砂の産地があり、それらに出入りする大型車輛が非常に多く、全国でも有数の大型車の交通量の激しい地域です。

そんな中で、春の交通安全旬間を前にして、新入学した、市内小・中学校の多数の子供たちを交通事故から守ろうというクラブの総意が、今回の交通安全標語掲示塔ACTとなりました。この春の交通安全旬間中に千葉県は死亡事故全国ワーストワンの勇名を馳せたくらいです。

私共のクラブも会長（石渡淳一郎）を始めとしてクラブメンバー全員が一丸となって、地域住民と共に交通安全を願い、木更津警察署の表玄関脇に交通安全標語掲示塔を建てました。この塔は標語を布製で掲示できるようにしてあり、交通安全だけでなく、覚せい剤追放などにも使用できる多目的の用途があります。また、この塔はクラブメンバーが考案し、クラブ内に数人いる鉄工所のメンバーが共同で製作にあたり、基礎工事、ペイント、

塔の最上部につけた赤灯の電気配線等、すべてメンバーによるACTを兼ねて仕上げました。もちろん設置に際してもクラブメンバーが多数参加し、我がクラブの誇りとするところです。



第30回 333 - C 地区年次大会

代議員分科会の報告事項

政策・ACT・クラブ経営分科会

委員長 L 松丸 善次郎

〈テーマ〉 新しいACTの考え方について

スピーカー 市川LC L 大谷 照男

現在全国で行われているACT事業資金は全国平均
44,741円、日額122円となっている。

333-C地区のACT事業費は

59,993円となり日額は164円

最高地区は335-B地区(大阪)

61,791円となり日額は169円

最少 332-A(青森)

14,653円となり日額は60円

となっている。

1件当の金額で比較すると全国平均

137,349円(平均)

333-A地区 138,380円

B " 151,107円

C " 197,129円(全国第1位)

最少332-A " 87,141円(青森)

以上のように全国各地毎にACT資金が社会奉仕に
充当されている現状である。

大型合同ACTを行うのに反対ではない。唯、合同ACT
を行う考えがあるなら早期に明示されたい。それは
各LCが自主性のあるACTを行う為資金計画を年度当
初に策定しておる現実であるため、そして合同ACTを
C地区全部のLCに提案を求めて諮問委員会にて検討し
ZCからCAB事務局に提出させる。提案事項について
CAB会議に計って決定されたい。

ま と め

以上の要望があったので、分科会において主旨了承し
次期CABに申し送り善処されたい。

〈テーマ〉 合同アクトについて

二三の活発なる発言者があった。主旨として基本的、
には賛同するもプロセスが大事であるとのことであった。

結 論

主旨了承 次期CABに申し送り善処方要望する。

会則・長期計画リサーチ分科会

委員長 L 前田 慶四郎

当分科会は、1)クラブ役職の副の取扱いについてと、
2)クラブ結成式、チャーターナイト、周年行事の取扱い
についての2つのテーマを取り上げて、意見の交換を行
った。

まず、副の問題であるが、(言うまでもなく、クラブ
会則にないもの)各クラブの現況について、意見を交え
た報告を求めた。これには、殆ど、全クラブが副を置い
ていと答えたので、さらに、「その設置の必要性」を
問うたところ、これまた、第一に「正」の欠席した場合
第二に次期以降のスタッフ養成のため、または、テーマ
ツイスターについては、特に複数の人員を設けることに
より受ける実益などの意見が述べられた。

因に、副についてのクラブの特別な処遇方法は、会員
の当然の義務だとして考慮されていなかった。

つぎに、会則7条A項と副との関係について、大略、
以下の意見発表がなされた。1.副は必要なので、会則に
定めがなくても設定すべきである。2.会則違反になら
ないように措置を考えられたい。3.クラブの自主性に任
されたい。4.ゾーン幹事を正式にCAB構成員として認め
られたい。

以上に対して、議長の立場からクラブ内での運用規定
で処理するよう、またその際、会則違反を注意するよう
説明されたが、一部にすっきりした規定を制定する要望
がなされ、CABに対して、これを期待する空気が流れ
た。第二に、周年行事等の取扱いの問題については、第
一テーマと同様、先ず現状報告と意見を求めた。その結
果、1.これからはACTに重点を置き、運営は質素にと
の意見を第一に、方法については、クラブ自らの独創性
を生かしてお客本位に考えたい、或は、既に将来の行事
に備えて、ACT資金の積立を行っているとか、一クラ
ブでは有効なACTが無理なので、合同で行えないかと
か、の意見があった反面、現状で満足、他クラブの行き
方を参考にしたいとの意見もあった。

つぎに、周年行事等の取扱いについて、以上の意見発



表が終わったところで、出席者の全員に対し、項目として参加人員、祝宴、アトラクション、ラッキーカード、ドネーション、祝金持参の慣例、会費、式典かPRかの比重、を挙げて意向聴取を試みた。

答として求めた区分は、「現状でよい」、「参加者に迷惑を掛けないことを前提に、クラブの自主性に任せたい」、「改善の要あり」の三つであったが、結果は、圧倒的に「クラブの自由性に任せたい」であった。

以上を総合して、参会者の考えが、333-C地区ライオン憲章の、「単位クラブの尊厳と自主性の尊重、組織の簡素合理化と経費の節減努力」の精神と一致するものと解され、この一事を以てしても、本会合は大いなる収穫と言うことが出来よう。

ここに、分科会主催者一同は、参会者各位の熱心な意見交換に対して、深甚な敬意を表すると共に、ライオンズ高揚に、一段の精進を重ね、共々にライオンズの発展を祈念する次第であります。

PR情報分科会 委員長 L 中島市太郎

佐倉LC、柏LC、市川LC、野田LC、房州白浜LCよりそれぞれの発言者があった。その内容は

- (1) 新聞社とPR情報委員会との懇談会を持つようになっている。
- (2) 各地方自治体にある広報（広報紙）を活用している。
- (3) 地方新聞社とのPR活動は難かしい面もある、例えばPR記事を掲載するに当り、多額な広告料を要求される場合もある。

提 案

各クラブの会報を交換し合うか、年一度の大会に於いて展示会を開いたらどうか。

結 論

主旨了承、次期CABに申送り実現を図りたい。

会員・EXT分科会 委員長 L 秋山芳三

<テーマ> EXTの諸問題

- 1. 発言者 L豊福和麿(銚子LC)
《要旨》 20年近い以前にスポンサーした経験があるが最近では各地にLCができて稠密となり、新しいクラブを結成する地域の余裕がなくなっているので困難を伴う。銚子クラブは会員数が多く103名を数えているが二つに分割するには問題が多く目下検討中である。

- 2. 発言者 L山崎 茂(茂原長生)

《要旨》 クラブがエクステンションをする場合、資金がかかる。運営費60%、例会食費30%、事業費10%でやりくりしている中でEXTはACTではないから予算上運営費の出費となり、その対応に悩んでいるのが実情です。何か資金的な援助をする方法はないか検討をして欲しい。

- 3. 発言者 L林 静 誠(船橋中央LC)

《要旨》 如何にしたらEXTできるか真剣に考える必要がある。ACTにはならないけれどもEXTこそが最高のACTでもあると思うが如何。

<テーマ> 会員増強について

- 1. 発言者 委員長 L秋山 芳三

昨年7月の会員数と本年3月末のそれを比較するに増加281名に比して減少184名で純増加は97名となる。この増加数には房州白浜クラブの16名増、流山クラブ10名増を含んでいる。そしてこの間において

○19のLCではメンバーが減少した。

○44のLCではメンバーが増加した。

○11のLCでは±0であった。

退会の防止が緊要である。

- 2. 発言者 L小泉集 莊(司会)

ライオン誌によれば世界のLCで5年半で大きく入れ替わっているとのことであるが、どうしたらメンバーが長続きするか、どういう人材を新入会員にしたらよいか問題である。

- 3. 発言者 L林 静 誠(船橋中央LC)

《要旨》 会員の維持、増強のために

- a. 新入会員の入会式を盛大且厳粛にとり行い、会員たる意識の昂揚を計る。
- b. 新入会員にはなるべく早くクラブ役員になれる様、少しでも早くグッドスタンディングメンバーになって貰う様にする。
- c. 一年経過したら必ず1人の新メンバーをスポンサーする様にする。

- 4. 発言者 L木村喜久(流山LC)

適当と思われる人を広範囲にピックアップして働きかけた。現在55名のメンバーであるがこれからも増強につとめたい。JCのOBに照準をあてるなどして今期に2名、来期には7名の入会を見込んでいる。

- 5. 発言者 L山崎 茂(茂原長生LC)

《要旨》 リテンション0運動を推進して貰いたい。例会の席次をその時々によって変える又はテールツイスターを元会長がやって例会をもり立てるなどの方法をとっている。

オリエンテーションにキャビネットから来られたが、難しすぎるのもっと身近かな平易な話し方にして欲しい。

結 論

以上の提言をまとめて、会員の増強も素より大切であるが、退会防止も非常に重要なことである。

そのため、 a) 入会勧誘に当ってその人柄をよくみること。 b) LT又はTTの果す任務が重要である。

c) テーブルの配置を変えることや家族例会、花見例会又は月見例会など例会に変化をもたせて興味ある運営を試みる。 d) 訳り易い内容でオリエンテーションを実施することなどの方法がとられるべきである。

感謝と期待をこめて

83年～84年度国際協調YE・LCIF委員長 L 林 隆 而

石橋ガバナーのご依頼を受けて非力をかえりみず委員長になってから1年ガバナー方針にもとずいてやらなければならないことを一部未定のまま去ることになってしまった。しかし、ライオンズは多士済済である。次期役員がまた新しいアイデアと方針のもとに国際関係活動を進展させていくことであろう。

私の在任中は努めて委員長ガイドブックに記されている地区委員長の職責と義務にもとずいて行動したつもりであるが意志の徹底不足から誤解があったかもしれない。ここにライオンズ諸兄の友愛と寛容をお願いしてお許しを戴きたいと思う。同時にガバナー初め地区役員とくに国際関係委員の方々、事務局職員のご協力とご支援に対し深く感謝の意を表する次第である。

事業報告については過去のキャビネット会議での委員長報告に述べられた通りであるが簡単にまとめてみると次の通りである。

1.各リジョンにそれぞれの国際関係委員の配置が認められた。将来はガバナー委員長の方針に従った責任分担を

それぞれが持ち、各リジョンで各クラブへのきめこまかな協力をすべきであらう。また各クラブに担当委員長の任命を強く要望したい。

2.国際関係委員会の設置と月例会議の開催、委員長を通してガバナーへのアドバイザー機関であり、専門的分野の研究機関であってほしい。

3.地域社会との連帯性、これからも地域に奉仕するライオンズクラブとしてマスコミや学校訪問などを通しながらライオンズともども国際関係プログラムを発展させるべきであらう。受入家庭の一般募集も意義のあることである。

4.4L3地区との姉妹地区締結、これからも世界の各地区との姉妹友好関係を増加させ、青少年交換ライオンズ交換、姉妹クラブ締結を盛んにすべきであろう。

以上の4項目であるが「継続こそ力なり」といわれるようライオンズの精神が変わらない以上様式は変わっても国際理解と親善の活動は力強く続いていくことを期待する。

習志野中央LCのCN盛大に挙行

2R PR情報委員 L 渡 辺 惇

習志野中央LCのCNが、4月14日(土)に、習志野文化ホールにおいて盛大に挙行された。石橋ガバナーをはじめ、県内各地から駆けつけて下さった仲間へ暖かく見守られて、見事な出発をした。きっと立派なLCに成長されることであろう。

仲間がふえることは、まことにうれしい。しかし今後は新LCの結成も次第に困難となろう。貴重な新クラブの将来は、私達すべての関心事でなければならない。新しい血は、まさに新しい活力であり希望の星である。皆さんの友情あふれる御交誼のほどを御願ひして、報告といたします。





L C I F 送 金 状 況

59年6月30日現在

R	Z	クラブ名	金額	人数	R	Z	クラブ名	金額	人数
1	1	市川川	30,240		4	1	東庄		
		市川東○	12,000	1ドル×50人			神崎	95,600	10ドル×40人
		上総中山	11,760	1ドル×49人			大栄		
		浦安	86,400	10ドル×36人					
		行徳	11,520	1ドル×48人					
		市川北	12,000	1ドル×50人					
	2	松戸	235,200	10ドル×98人		2	八日市場	23,760	720円×33人
		流山	10,500	250円×42人			旭	162,520	10ドル×68人
		松戸中央	148,800	10ドル×62人			総武中央	76,800	
		松戸東	94,000	51人			飯岡	48,800	10ドル×2人LC20,000円 100ドル×1人
野田		10,080		多古	17,500		2ドル×35人		
3	柏	18,250	1ドル×73人	5	1	木更津	9,000	1ドル×36人	
	我孫子	10,000	1ドル×41人			木更津中央	50,000	40人	
	柏中央	16,250	250円×65人			袖ヶ浦●	17,700		
	柏グリーン	31,500				木更津金鈴●	63,335 12,250	5ドル×53人 1ドル×49人	
	印西	9,250	1ドル×37人						
	小計	747,750			2	富津○	9,360	1ドル×39人	
1	船橋	115,000	10ドル×46人	上総					
	船橋中央●	35,400	60人	君津○●		34,000	500円×68人		
	鎌ヶ谷	49,500	1ドル×38人 10ドル×16人	君津中央●		9,250	250円×37人		
	沼南	50,400	10ドル×21人	小計	204,895				
	船橋ポート	12,900	300円×43人	1	館山●	15,500	250円×62人		
2	習志野	177,600	100ドル×1 10ドル×64人		鋸南				
	八千代	110,800			館山中央	12,720	1ドル×53人		
	船橋東	124,800	10ドル×52人		館山北	4,800	1ドル×20人		
	船橋京葉○	6,000		館山南	8,000	250円×32人			
	船橋北	18,500	35人	2	鴨川	36,000			
	習志野中央				房州白浜				
小計	700,900		房州朝夷		22,000	1,000円×22人			
成田	28,560		房総勝浦						
3	1	佐倉	80,000		7	1	茂原	7,200 12,000	1ドル×3人 1ドル×50人
		四街道					上総一宮	8,880	240円×37人
							茂原長生	122,400	10ドル×51人
	千葉葉	16,080 130,000	240円×67人 10ドル×52人	白子					
	2	市原	10,500	42人		長南	18,500	500円×37人	
		千葉中央	628,800	1000ドル×2人 10ドル×62人		2	東金	100,800	2,400円×42人
		千葉エコ	150,480	10ドル×57人 1ドル×57人 23,000 100ドル×1人			大網白里	6,720	
		市原南	11,520	1ドル×48人			九十九里	72,000	10ドル×30人
		千葉京葉●	9,600	1ドル×40人			成東		
		千葉若潮	9,840	1ドル×41人		小計	348,500		
千葉ポート		8,806		合 計	3,928,831				
小計	1,084,186								
4	1	銚子	25,320	103人					
		佐原	253,200	10ドル×93人 100ドル×1人					



333 - C 地区合同 A C T 一覧表

1984. 5. 8

R	Z	クラブ名	L C	LSクラブ	R	Z	クラブ名	L C	LSクラブ	
1	1	市 川	186,000		5	2	東 庄	126,000		
		市 川 東 ○	150,000				神 崎	120,000		
		下 総 中 山	201,000				大 栄	90,000		
		浦 安	111,000							
		行 徳	171,000							
		市 川 北	300,000							
	2	松 戸	297,000			2	八 日 市 場	105,000		
		流 山	150,000				旭	224,000		
		松 戸 中 央	252,000				総 武 中 央	96,000		
		東 松 戸	156,000				飯 岡	180,000		
		野 田	132,000				多 古	114,000		
							千 潟	84,000		
	3	柏	216,000			1	木 更 津	111,000		
		我 孫 子	126,000				木 更 津 中 央	120,000		
		柏 中 央	213,000				袖 ケ 浦 ◎	111,000	ネス 20,000	
		柏 グ リ ー ン	186,000				木 更 津 金 鈴 ◎	309,000	ネス 29,000	
		印 西	108,000							
		R	2,955,000							
	2	1	船 橋	161,000			2	富 津 ○	143,000	
			船 橋 中 央 ◎	210,000				上 総	114,000	
			鎌 ケ 谷	120,000				君 津 ○ ◎	243,000	ネス 42,000
沼 南			63,000		君 津 中 央 ◎	161,000		ネス 17,000		
船 橋 ポ ー ト			129,000		R	1,312,000				
2		習 志 野	420,000		1	館 山 ◎	233,000			
		八 千 代	135,000			鋸 南	114,000			
		船 橋 東	200,000			館 山 中 央	159,000			
		船 橋 京 葉 ○	69,000			館 山 北	90,000			
		船 橋 北	105,000			館 山 南	96,000			
3	1	成 田	180,000		2	鴨 川	43,000			
		佐 倉	120,000			房 州 白 浜	58,000			
		四 街 道	70,500			房 州 朝 夷	86,000			
	2	千 葉	1,231,000			房 総 勝 浦	15,000			
		市 原	176,000			R	894,000			
		千 葉 中 央	1,895,000			1	茂 原	150,000		
		千 葉 エ コ ー	560,000				上 総 一 宮	111,000		
		市 原 南	144,000				茂 原 長 生	182,000		
		千 葉 京 葉 ◎	530,000	ネス 200,000			白 子	84,000		
		千 葉 若 潮	150,000				長 南	108,000		
千 葉 ポ ー ト	102,000									
R	5,158,500		2	東 金	162,000					
4	1	銚 子 ○		300,000		大 網 白 里	93,000			
		佐 原		305,000		九 十 九 里	123,000			
					成 東	75,000				
					R	1,088,000				
					合 計	15,005,500	308,000			

アルバムで見る

333-C 地区大会寸描



大会会場風景



各地区役員入場



開会のゴング



次期ガバナーエレクトへ引次の瞬間



ガバナーL石橋 光 挨拶



式典も終りアトラクションに移る



活発に討議する分科会



最後を飾る懇親会

千葉ポートライオンズクラブ

栄えある認証状伝達式を挙行

千葉若潮L・C
EXT委員長 L 竹久定雄

梅雨に入った6月16日気になっていた天気も上々、今日は千葉ポートL・Cのチャーターナイトの日だ。各クラブとも6月は新役員の体勢造りや諸行事も多いしおまけに土曜日、心配されていたブラザークラブの登録もポートのメンバーが精力的に全県下を訪問した甲斐があって、750人のライオンが同志の門出を共に喜び合う為三々五々県都文化会館に遠くは北海道からも参集大ホールロビーは開式前から華やかな活気に満ち々々市内6クラブの会長の顔もほころび体中で喜びをまいているようだ。PM2:00立石幹事の司会で開式のゴングが喜寿を越えてなおお仕事を凌ぐ元気な佐藤操会長の手で全堂に鳴り響いた。型通り進行するなかでポートのメンバーの方々が充実した気力ある音声でそれぞれの役職を胸を張って務めている姿は誠に立派でした。認証状の伝達、本日の式典の最高にして厳粛且つ新クラブのメンバーの心に深く刻まれる時が来ました。石橋ガバナーはこの日を誰よりも待ち望んで居りました私にもガバナー在任中に地元千葉市で久し振りに行われるC・Nを是非実施するよう強く要望されましたので少々時間的に大変だと思いましたがこの日と定めたのですがこの喜びは残念なことに持病をおして全県下を駆け廻った過労のためか健康をそこね病床の身となり本日はガバナー氏代行として池澤CAB幹事が後

にも先にも多分公式行事にガバナー代行されたのは今回だけだと思います。高い声ではないが力強い響きのある声で認証状を読みあげました。"こゝにライオンズクラブ国際協会は会長及び幹事の署名を付し協会のシールを添えて貴クラブに認証状を授与します"と。続いて祝辞がガバナー代行、沼田県知事、松井市長と続き千葉ポートL・Cの国際協会の一単位としての第一歩を祝福されました。又協力出演された下志津高射学校音楽隊の演奏のなかで蛍光板に画かれた頑張れ、千葉ポートのプラカードには満堂の拍手がわき上りポートの前途を心から祝うブラザークラブの姿もきっとポートの皆様の方に焼きついたことでしょう。



編 集 後 記

時の経つのは早いもの、昨年この情報委員長と云う大役を、柄にもなく私ごときがお引受けし、あれこれいろいろと考え地区ニュースの編集に取り組んで、各リージョンを漏れなく平均に御紹介して、皆さんの御参考になればと思いつつも、それが半分も出来なかったことは、申し訳なく思っています。

本年度の地区ニュース発刊以来、各クラブ、各ライオンの御指導と御協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

特に取材原稿等一年間御協力を願った、各リージョンPR委員、地区役員及び編集委員の皆様、キャビネット事務局員並びに千葉合同事務局員の皆様にご多大変御迷惑をかけたり、御協力を頂き誠に有難うございました。地区ニュースが曲がりなりにも発行出来ましたこと、誌上をお借りして深くお礼を申し上げます。

特に第4リージョンPR委員磯村豊司ライオンには毎

回大変な取材寄稿に対して深く深く頭のさがる思いでした、厚くお礼申し上げます。

扱て1ケ年間地区ニュースの編集をして、強く感じたことは333-C地区は、当千葉県一地区でありますのでこの編集員は半永久的に固定化すべきではないかと思いましたが、ガバナーが替るごとに編集委員までが交替では、地区ニュースの編集方法迄が多少なり替えざるを得ない。編集員も皆少しなれだし、やれやれと思うと終りになって、このことの繰り返し継続では、地区ニュースの前進は考えられない。又いろいろと変わった形で、変わった角度よりの内容が取材出来るならこれも面白いと思いますが、素人が一年限りの分担でこれをなし遂げることは、無理ではないかと、強く強く感じた次第です。

何はともあれ私共地区内のことを知る有一の、機関紙ですので皆さんで大切に、協力しあって、原稿を豊富に寄せて頂き、よりよい地区ニュースになります様に、お力添えをお願いして、私共1年間の御礼と致します。

地区PR情報委員長 高橋 進